



母乳のことばかり書いて
いましたが、現実世界では
昨春秋、娘が三歳になりま
した。

いも虫みたいだったの
に、三歳ともなるとすっか
りヒトです。普段は坂道を
登るように、じわーっと成
長しているのですが、三歳
は節目なのか、この数週間
階段を一段登ったように、
心身共にぐんと伸びたよう
に感じます。お誕生日に前
後して、運動会、七五三、
お遊戯会と行事も盛りだく

さんで、様々な経験が自信
になったのか、本人も、お
姉さんになった、と自覚し
ているようです。

言葉もさらに増えて、複
雑な内容のおしゃべりもで
きるようになりました。記
憶力も驚くほどで、その場
しのぎの言いくるめなどは

もらいそびれなどはありま
せん。元は母がいけないの
ですが、やられたなァ……
と苦笑いもしばしば。

こんな調子で、最近の娘
の言動は思わず笑ってしま
うことばかり。今までも日
記を書こうと決意しては、
挫折を繰り返してきた人生

間、鞆をまとめて置いてい
るようなのですが、こんな
言い回しをどこで覚えたの
でしょうか。なんだかすご
い情報通です。

こんな一言もありまし
た。手を拭いて欲しいと
「おてて！」とだけ叫ぶ
娘。「おてて、ではわから

「え？ お仕事の人、ふ
ざけてたの？」

いつも私が、変な顔をし
てふざける娘に対して「ふ
ざけるとママ怒るよ」と言
っているのを覚えていたよ
うなのですが、その一言を
聞いて、思わず脱力。そう
か、あの人、ふざけてたん
だ……。娘のおかげで、腹
を立てているのも馬鹿らし
くなってしまいました。

娘は三歳の成長の節目を迎えて

一切通用しません。

例えば出先でグズグズし
ている時など、「あとでい
いものをあげるから」なん
て言っ、つい言うことを
きかせようとしてしまうの
ですが、すっかり忘れた頃
に「ねえ、さっきのいいも
のってなあにい？」とニヤ
ニヤした顔で聞いてきて、

ですが、これは忘れてしま
ってはもったいないと、メ
モ帳を引っ張り出して、必
死に書き留めています。

他にはこんな台詞が。保
育園での様子を聞いた時の
こと。「〇〇組さんは、お
かばんを別のところに置き
ているって話だよ」
年長さんはお迎えを待つ

ないよ。おてて拭いて、で
しょ」という母の注意に対
して「でも、バアバはハイ
ハイって言うよ」。バアバ
もなめられたものです。

極めつけは、私が職場で
イライラしてしまった日の
帰り道。私が「今日、ママ
お仕事の人に怒っちゃった
んだ」と話すと……。

達者だなァ、と笑う一方

で、やっぱり赤ちゃんみた
いなどころもあります。未
だに「お薬」は「おすくり」
だし、「お膝」は「おちぎ」
になったまま。こんな言い
間違えをするのもあと僅
か、と思うと余計に愛おし
くて、訂正せずにそのまま
にしています。